

みずほCustomer Desk Report 2022/12/19号(As of 2022/12/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.70 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.75	1.0639	146.52	1.2190	0.6706
SYD-NY High	137.80	1.0663	146.52	1.2223	0.6735
SYD-NY Low	136.30	1.0584	144.66	1.2122	0.6676
NY 5:00 PM	136.73	1.0584	144.66	1.2140	0.6686

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,920.46	▲ 281.76	日本2年債	▲0.0200%	0.0000%
NASDAQ	10,705.41	▲ 105.11	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,852.36	▲ 43.39	米国2年債	4.1804%	▲0.0580%
日経平均	27,527.12	▲ 524.58	米国5年債	3.6208%	0.0004%
TOPIX	1,950.21	▲ 23.69	米国10年債	3.4859%	0.0368%
シカゴ日経先物	27,300.00	▲ 330.00	独10年債	2.1555%	0.0670%
ロンドンFT	7,332.12	▲ 94.05	英10年債	3.3260%	0.0895%
DAX	13,893.07	▲ 93.16	豪10年債	3.4620%	▲0.0020%
ハンセン指数	19,450.67	82.08	USDJPY 1M Vol	10.87%	0.51%
上海総合	3,167.86	▲ 0.79	USDJPY 3M Vol	10.62%	0.14%
NY金	1,800.20	12.40	USDJPY 6M Vol	10.37%	0.13%
WTI	74.29	▲ 1.82	USDJPY 1M 25RR	▲0.87%	Yen Call Over
CRB指数	271.38	▲ 3.34	EURJPY 3M Vol	10.11%	0.16%
ドルインデックス	104.70	0.14	EURJPY 6M Vol	10.16%	0.16%

東京	東京時間のドル円は137.75レベルでオープン。昨日終盤のリスクオフのドル買いが一服し、週末を控えてポジション調整の売りも入ると136.95まで下落。その後は材料不足の中やや値を戻すと137円前半で小動きとなり、137.30レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は137.30レベルでオープン、新規材料に欠ける中、50銭程度の値幅で横ばい推移。137.04レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	137.04レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けて高値の137.34まで上昇するが、その後発表された米国の12月製造業PMIとサービス業PMIがともに予想を下回り、米景気後退懸念が強まったことから米金利低下とともにドル売りで反応し、136円台半ばまで下落。午後は米短期金利の低下幅拡大を受けて、136.30まで安値を更新。終盤は米金利の持ち直しとともに買い戻しが入り、結局、136.73レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台半ばでスタート。新規の手掛かり材料は見当たらなかったが、ユーロ円の調整売りが重しとなり、1.06台前半まで下押し、1.0622レベルでNYオープン。朝方は米株の軟調に推移する中、リスクオフのドル買いやユーロ円の売りが重なり、1.0584まで下落。終盤にかけても上値重く推移し、結局、そのまま安値の1.0584レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・鈴木

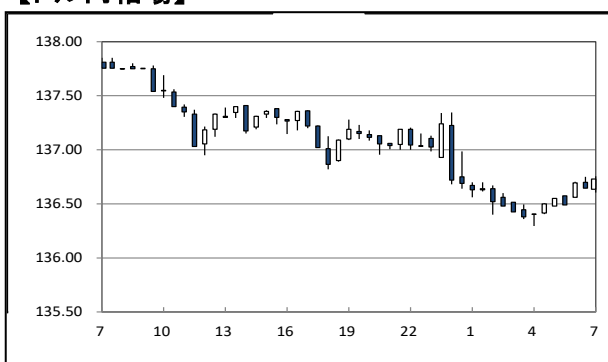
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月16日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.1%/10.1%	-0.1%/10.0%
	19:00	欧 コアCPI・確報	11月 5.0%	5.0%
	23:45	米 製造業PMI	12月 46.2	47.8
	23:45	米 サービス業PMI	12月 44.4	46.5

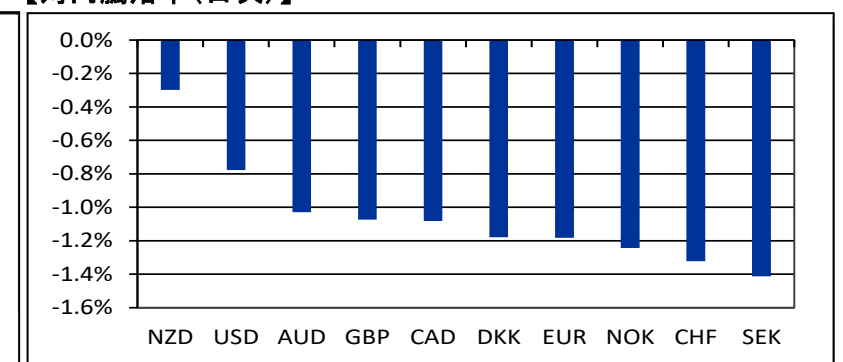
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月19日	18:00	独 IFO(企業景況感/現況/期待)指数	12月 87.5/93.5/82.0	86.3/93.1/80.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-137.50	1.0500-1.0700	143.00-146.00

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円はやや下落。東京時間137円台後半でオープンし、前日に2円以上上昇した反動もあり、利益確定や週末を控えたポジション調整の売りが先行し、一時は136円台後半まで下落。海外時間に入り、137円ちょうど付近でもみ合った後、NY時間に入ると米金利上昇を受けて高値の137.34まで上昇するが、その後発表された米国の12月製造業PMIとサービス業PMIがともに予想を下回り、米景気後退懸念が強まったことから米金利低下とともにドル売りで反応し、136円台半ばまで下落。その後も米短期金利の低下幅拡大を受けてドル円は136.30まで安値更新。終盤は米金利の持ち直しとともに買い戻しが入り、結局136.73でクロスした。本日のドル円は底堅い展開を予想する。今週は日銀金融決定会合が控えているが、金融政策の維持が見込まれている。改めて主要諸国との金融政策差が意識される中、本日のドル円も底堅い展開となろう。一方でクリスマスや年末が近づいており、大型休暇の前に流動性の低下によるボラティルな展開に留意したい。